

# ～公園緑地協会からのご案内～

とびっくす

## 協働活動の紹介 ～埼玉大学教育学部附属小学校～

令和5年11月29日(水)に別所沼公園(南区)のリサイクル花壇にて、埼玉大学教育学部附属小学校の生徒さん達と花植えを行いました。附属小から歩いてすぐ近くにある別所沼公園では、生徒による手づくりの公園内美化ポスターを掲出しています。その効果もあり、訪れる多くの方が公園を気持ちよく利用しています。

今回は、当協会が行っているSDGsの取組みの一部であるリサイクル花壇の説明を行ったあとに、実際に自分たちの手で花を植えました。仲間と協力して、きれいに植えていただいた花壇は、市民の方々への美化・緑化等の啓発を促進します。

当協会では、公園施設等に対する愛護意識の向上を図るとともに、地域の活性化や、良好な地域コミュニティを形成することを目的とした協働活動を行っています。また附属小の生徒さんたちと一緒に作業するのを楽しみにしています。



## 第15回さいたま市みどりの功労賞受賞

さいたま市内のみどりの保全や緑化推進に貢献された方に贈られる「みどりの功労賞」に、当協会と協働活動を行っている「鴨川みずべの里わくわくネットワーク」が選ばれ、さいたま市より表彰されました。日頃からの活動によるご協力に感謝いたします。

**【活動の内容】**  
当協会が管理している鴨川みずべの里(西区大字水判土)での花壇の花植えや樹木剪定・清掃・除草活動を通して、公園に対する愛護意識の向上を図るとともに、地域の活性化や良好な地域コミュニティの形成に貢献されています。



## 自動販売機等の収益を 公園施設のリニューアルに活用しました!!

当協会は公園の付加価値を高めるため、「自動販売機の設置」や「キッチンカーの出店」等の収益事業を行っています。

事業により得た収益の一部は、講座・イベント開催をはじめとする公益目的事業の費用に充てるほか、利用者の利便性及び快適性を高めるため、老朽化した施設のリニューアル等に活用し、日々公園を利用されている方々に還元します。

令和5年度は、「上落合公園トイレの便器洋式化等の改修」・「観音寺下公園8基及び原蔭公園4基のベンチ計12基の座板交換」を行いました。

### 上落合公園(中央区)トイレリニューアル



### 観音寺下公園・原蔭公園(見沼区)ベンチリニューアル



## 中村元信新理事長 就任のご挨拶

この度、公益財団法人さいたま市公園緑地協会の理事長に就任いたしました中村元信です。

日頃は協会運営に当たりまして、地域の皆様や関係取引の皆様のご協力をいただき心より感謝申し上げます。

当協会は、地域の公園や緑地の保護を通して、地域社会の健全な発展に貢献すること、また、より多くの方々に公園の重要性を伝えていくことを使命としております。

そのためには、皆様と協力し合い、健康増進に向けたイベント展開や賑わいの創出による地域コミュニティ形成のほか、予期せぬ災害に備えた防災公園の一層の拡充などに取り組んで参りますので、今後とも宜しくお願い申し上げます。

公益財団法人さいたま市公園緑地協会  
理事長 中村元信

## 寄附金募集のご案内

◎特定公益増進法人である当法人への寄附金は、税法上の優遇措置の対象となります。

当協会では公益目的事業の拡充を図るため、目的別に定めた2種類の特定寄附金を募集しております。多くのおみなさまからのご支援、ご協力をお待ちしています。

**緑の基金**  
さいたま市の将来にわたる緑化推進のための積立や、公園樹木の樹名板設置、緑化推進広報用に配布する花の種の購入など、緑化の普及・啓発事業を展開するための費用に充てられています。

**公園文化創造寄金**  
公園を利用する子育て世代へのサポート、市民の皆さまの健康増進など、公益を目的とした教室・講座・イベント事業を開催するための費用に充てられています。

**桜回廊寄附金 募集終了**  
令和5年9月30日をもって、受け入れは終了しました。多くのおみなさまからご支援いただきましたことを厚く御礼申し上げます。ご協力ありがとうございました。  
【寄付金総額】772,119円



令和6年3月発行  
**公益財団法人  
さいたま市公園緑地協会**  
〒336-0021 さいたま市南区別所4-12-10  
TEL: 048-836-5678 FAX: 048-836-5200



# みどりと公園

2024  
春  
Vol.22



## 公益財団法人 さいたま市公園緑地協会

大宮区役所前にある山丸公園に設置されている「C12 29号機」は、昭和8年に日立製作所笠戸工場で製造され、横浜・旭川・釧路で活躍した後、昭和34年から大宮工場の入換機として余生を過ごし、36年間にわたり活躍しました。その後、旧大宮市が大宮工場から借り受け今に至ります。この機関車は、長らく風雨に晒され車体が傷んでいましたので、東日本旅客鉄道株式会社とさいたま市、当協会が協力してリフレッシュを行い、車体の修復やナンバープレートの新調、汽笛の再現などを経て、大宮区制施行20周年記念「鉄道フェスタ」で、子ども達に塗装を仕上げてもらい、晴れて完成の時を迎えました。今後も、鉄道のまち大宮のシンボルとして、さいたま市の発展を見守り続けます。

